

7つのギモンでG7を深掘り!



札幌でのG7気候・エネルギー・環境大臣会合開催まで残り約1カ月。このページでは、今回の開催に当たり、知っておきたい7つのギモンにお答えします。

詳細 G7 開催支援担当 (21) 2091

Q1 そもそもG7って何?

Group of Sevenの略称。左の7カ国と欧州連合(EU)が参加し、サミットと呼ばれる主要国首脳会議や関係閣僚会合(大臣会合)を毎年持ち回りで開催します。

G7参加国など

- ・カナダ
- ・イタリア
- ・欧州連合(EU)
- ・日本
- ・フランス
- ・イギリス
- ・ドイツ
- ・アメリカ



サミットは山の頂上を意味する言葉

各国首脳が、世界経済、地域情勢といったさまざまな地球規模の重要課題について、意見を交換します

Q2 大臣会合って何?

分野ごとの主要課題を議論する場です。今年は全14種類の会合があり、札幌では気候・エネルギー・環境大臣会合が開かれます。

サミット・大臣会合の開催地



Q3 札幌で開催する理由は?

札幌は、国際会議などの開催実績が多くあり、警備体制や宿泊施設といった各国からの来賓を迎える環境が整っています。また、2008年に「環境首都・札幌」を宣言し、SDGsや脱炭素に向けて積極的に取り組んできました。

気候・エネルギー・環境大臣会合は、札幌以外にも多くの自治体が開催を希望した大注目の会合です

Q4 大臣会合の開催による札幌へのメリットは?

脱炭素の取り組みを国内外にアピールするとともに、国際都市としての知名度向上・魅力発信をする絶好の機会です。

北海道・札幌の目指す姿

ゼロカーボン北海道
・2050年までに道内の温室効果ガス排出量を実質ゼロとするゼロカーボンの達成



ゼロカーボン都市「環境首都・SAPPORO」

・2030年までに、札幌市内の温室効果ガス排出量を2016年と比べて55%削減
・2050年までに、市内でゼロカーボンの達成



Q6 脱炭素に向けた札幌市の具体的な取り組みは?

無駄なエネルギー消費を減らす省エネルギーの取り組みを進めつつ、なお必要となる電力などを再生可能エネルギーへ転換しています。

札幌市の主な取り組み

◎老朽化した建物の建て替えに合わせて、環境に優しい都心部へリニューアル

◎再生可能エネルギーの利用拡大



◎省エネルギー性能が高い住宅やビルの普及



Q7 未来の環境を守るためにできることは?

小さなことの積み重ねが環境を守る第一歩に!

家庭での取り組みの例

◎照明はLEDに換えて、使わない部屋の明かりは消す

◎バスや地下鉄、路面電車、自転車など地球にやさしい移動手段を選ぶ



◎服や物はお気に入りを長く愛用して、時にはリユースも楽しむ



ゼロカーボン都市を目指して

大臣会合開催をきっかけに、環境面のさまざまな取り組みを加速させていくことが重要です。取り組みの内容や暮らしの中で実践できることなどは、今後も本誌でお伝えしていくので、お楽しみに!

Q5 私たちが参加できるイベントはあるの?

大臣会合が行われる4月15(土)、16(日)に、「環境広場ほっかいどう2023」を札幌ドームで開催します!

※事前申し込みが必要な催しあり



入場無料 イベントの主な内容

さまざまな企画を準備中

森崎リーダーと考える北海道・札幌の環境

チーム ナックスの森崎博之さんと、食や農業の視点から北海道の環境を考えます。



体験型プログラム 「46億年・地球の道」

地球の歴史における環境の変化と生物の進化を、ギョッと話の込んだ460mの道を歩いて体験!